

運行三費の動向と低減策に関する実態調査報告（概要）

平成 27 年 11 月 公益財団法人 日本自動車輸送技術協会

本調査は、バス・トラック事業者の運行三費（燃料・油脂費、整備・修理費、タイヤ・チューブ費）の低減策等を把握して、最近の情報を関係者等に提供することを目的として、平成 27 年 1 月から 10 月にかけて実施した。

アンケート調査票は、バス 441 事業所、トラック 472 事業所にそれぞれ発送し、バス 251 事業所（回収率 56.9%）、トラック 179 事業所（回収率 37.9%）から回答があった。

以下、過去 3 回の調査結果（平成 12 年度、平成 17 年度、平成 22 年度）と比較可能な事項について今回調査と併せて示す。

なお、今回のアンケート発送数は、平成 12 年度と比較すると約 15 倍となっており、多くの運送事業者からの情報を得ることができた（表 1.1）。

表 1.1 調査票回収状況

項目	種別	バス	トラック	計
平成 12 年度	発送数	30	30	60
	回収数	23	16	39
	回収率	76.7%	53.3%	65.0%
17 年度	発送数	71	75	146
	回収数	39	30	69
	回収率	54.9%	40.0%	47.3%
22 年度	発送数	260	138	398
	回収数	155	68	223
	回収率	59.6%	49.3%	56.0%
27 年度	発送数	441	472	913
	回収数	251	179	430
	回収率	56.9%	37.9%	47.1%

1. 定期点検整備の実施場所

(1) 3 ヶ月点検整備

① 事業用バス

今回の調査では自事業所での実施が最も多く、次いでその他(系列会社・一般整備工場等)、ディーラー、自集中工場となっている。前回調査と比較して自事業所が 19.9 ポイント減少している。一方でディーラーが前回調査と比較して 13.3 ポイント増、その他が 6.4 ポイント増となっている（図 1.1）。

② 事業用トラック

今回調査ではその他での実施が最も多く、次いでディーラー、自事業所、自集中工場となっている。前回調査まで最多であった自事業所が前回調査と比較して 14.4 ポイント減となっている（図 1.2）。

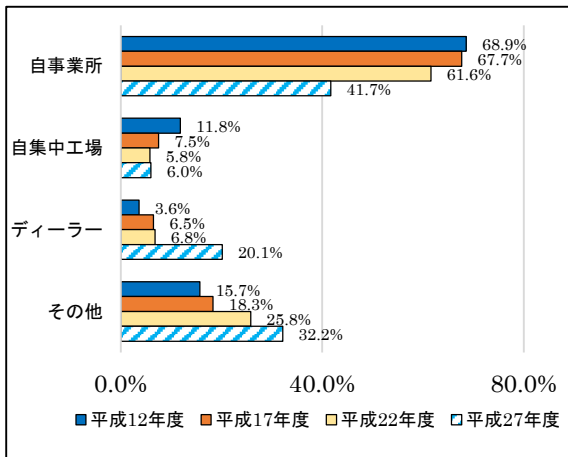


図 1.1 事業用バスの 3 ヶ月点検実施場所

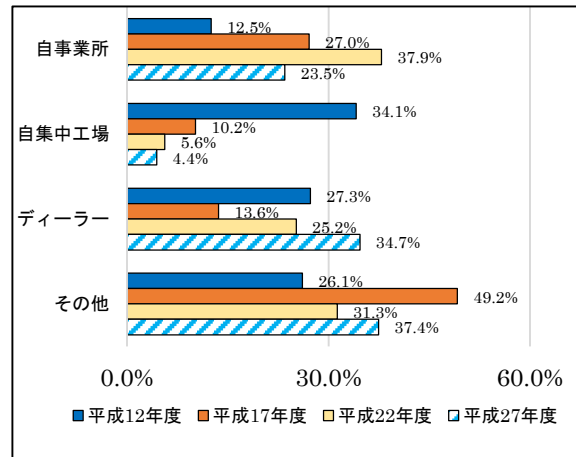


図 1.2 事業用トラックの 3 ヶ月点検実施場所

(2) 12ヶ月点検整備

① 事業用バス

今回調査ではその他での実施が最も多く、次いでディーラー、自事業所、自集中工場となっている。前回調査と比較して自集中工場が4.6ポイント減となっている(図1.3)。

② 事業用トラック

今回調査ではディーラーでの実施が最も多く、次いでその他、自事業所、自集中工場となっている。前回調査と比較して、ディーラーが23.7ポイント増となっている。一方で自集中工場が前回調査と比較して11.6ポイント減、自事業所が10.3ポイント減となっている(図1.4)。

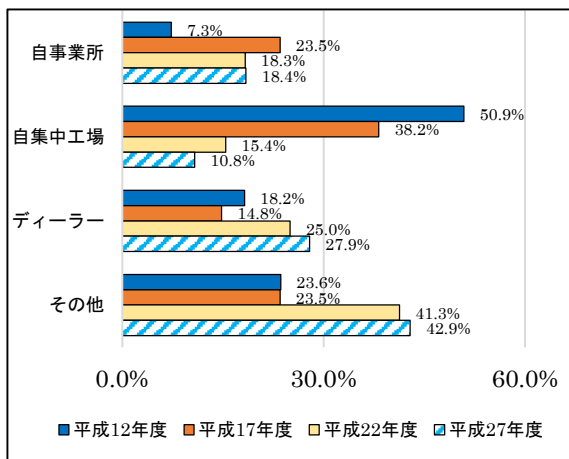


図 1.3 事業用バスの12ヶ月点検実施場所

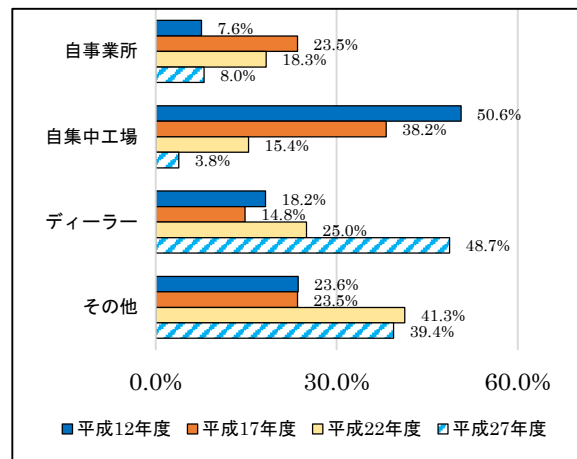


図 1.4 事業用トラックの12ヶ月点検実施場所

2. 運行三費の低減策

① 事業用バス

運行三費の低減策を進めている事業所が多い(図1.5)。

② 事業用トラック

運行三費の低減策を進めている事業所が多い(図1.6)。

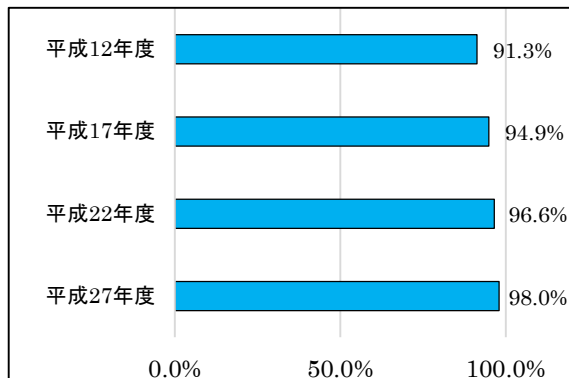


図 1.5 事業用バスの運行三費の低減策の実施

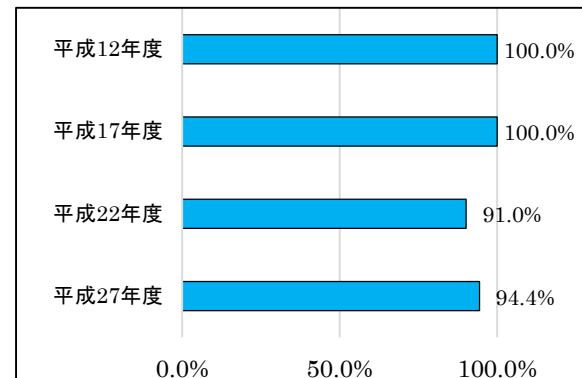


図 1.6 事業用トラックの運行三費の低減策の実施

3. 燃料費の低減策

① 事業用バス

今回調査では「急加速・急発進の禁止」が最も多く、次いで「適正タイヤ空気圧管

理の徹底」、「速度の規制」等となっている。前回と比較して傾向に変化はみられない（図 1.7）。

②事業用トラック

今回調査では「急加速・急発進の禁止」が最も多く、次いで「速度の規制」、「適正タイヤ空気圧管理の徹底」等となっている。前回と比較して傾向に変化はみられない（図 1.8）。

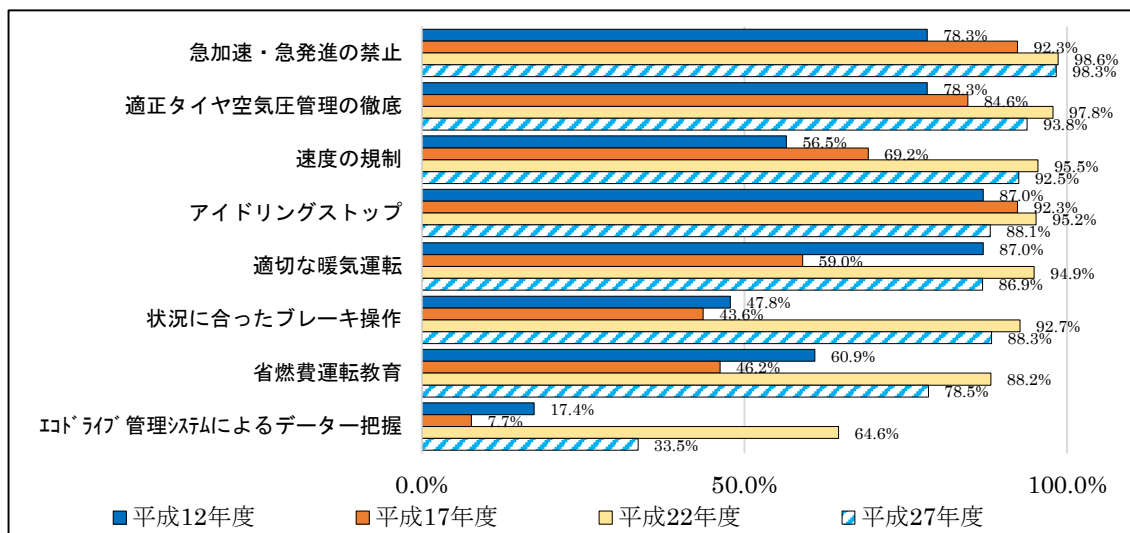


図 1.7 事業用バスの燃料費低減策の実施

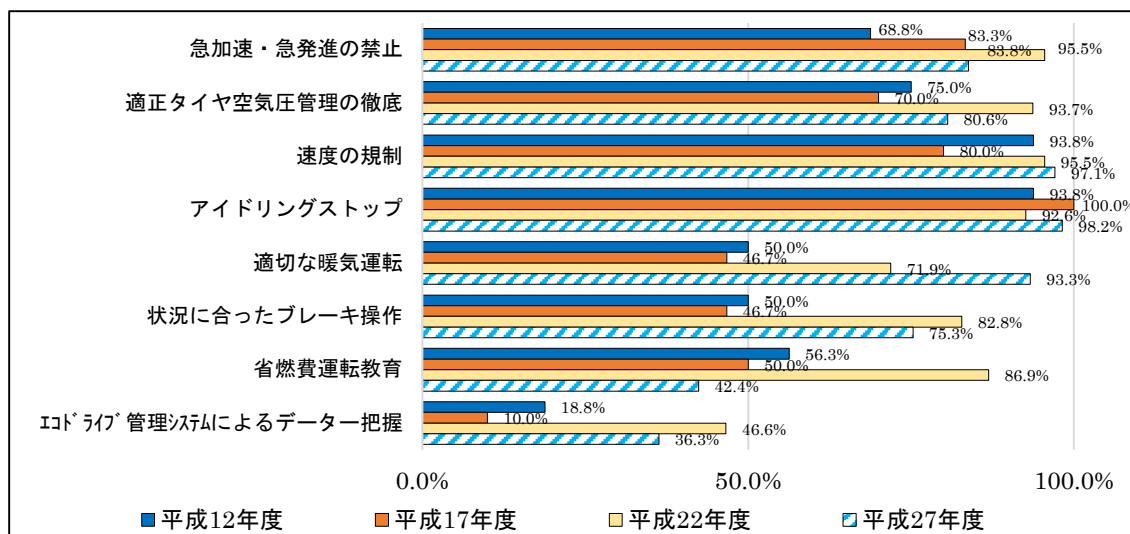


図 1.8 事業用トラックの燃料費低減策の実施

4. 油脂費の低減策

①事業用バス

今回調査では「省燃費オイル」が最も多く、次いで「LLC 交換又は補充時期の延長」、「エンジンオイル交換時の延長」等となっている。前回と比較すると「エンジンオイル交換時の延長」が 12.7 ポイント減となっている。一方、今回調査では「省燃費オイルの使用」が前回と比較して 6.3 ポイント増となっている（図 1.9）。

②事業用トラック

今回調査では「省燃費オイルの使用」が最も多く、次いで「エンジンオイル交換時

の延長」、「オイルエレメント交換時期の延長」等となっている。前回と比較すると「エンジンオイル交換時の延長」が10.5ポイント増となっている。

また、前回と比較して全ての低減策が増加傾向となっている（図1.10）。

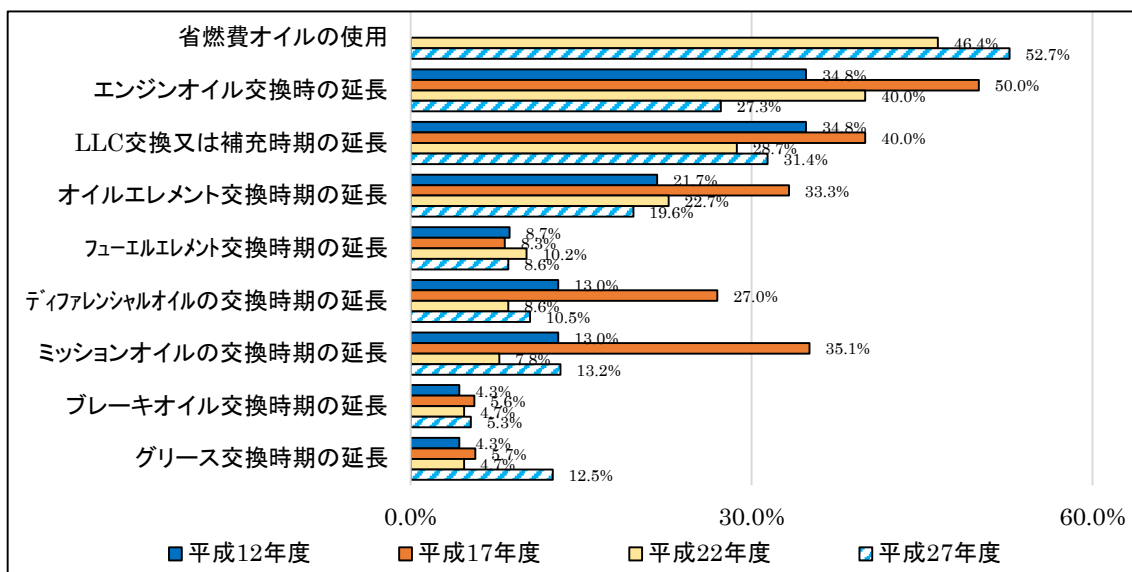


図 1.9 事業用バスの油脂費低減策の実施

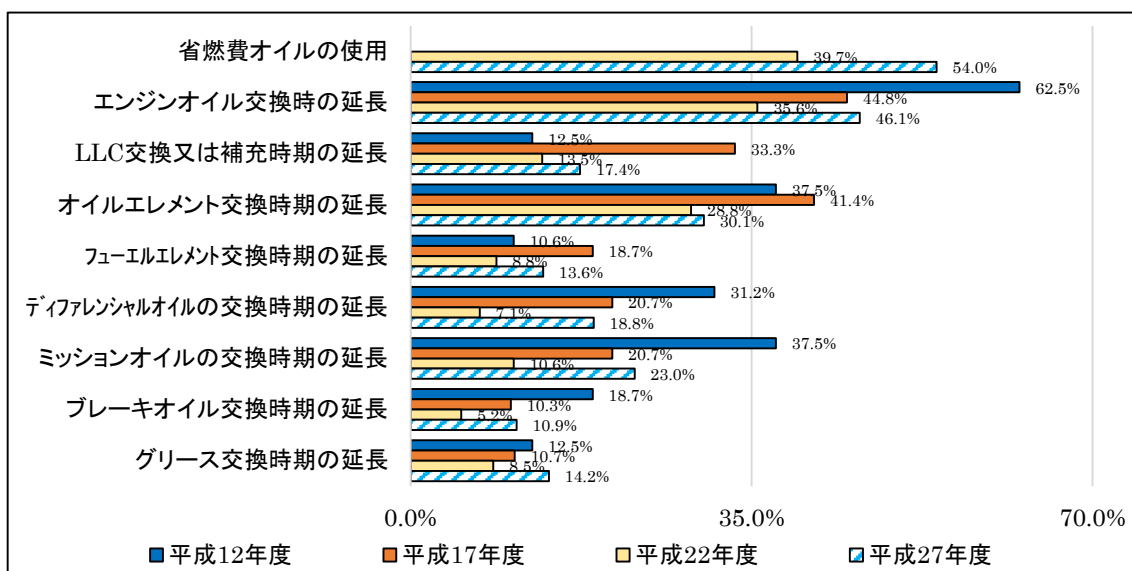


図 1.10 事業用トラックの油脂費低減策の実施

5. 部修費（修理費又は整備費）の低減策

(1)再生部品使用状況

①事業用バス

今回調査では、「再生部品使用」が前回に比べ9.6ポイント減となっている。「予備品の相互活用」では前回と比較して16.2ポイント減となっている（図1.11）。

②事業用トラック

今回調査では「再生部品使用」が前回に比べ10.4ポイント減となっている。「予備品の相互活用」では前回と比較して傾向に変化はみられない（図1.12）。

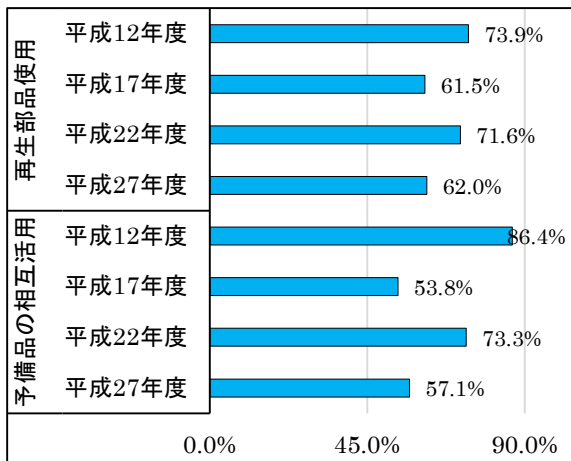


図 1.11 事業用バスの部修費低減策

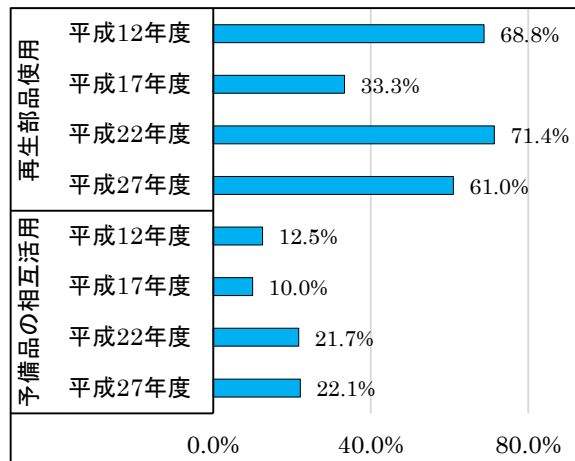


図 1.12 事業用トラックの部修費低減策

(2) クラッチ分解整備の判断基準

① 事業用バス

今回調査では「走行距離及び調整シロ」の判断基準が最も多く、次いで「調整シロ」、「走行距離」等となっている。前回と比較して傾向に変化はみられない（図 1.13）。

② 事業用トラック

今回調査では「調整シロ」が最も多く、次いで「走行距離及び調整シロ」、「走行距離」等となっている。「調整シロ」が前回と比較して 9.7 ポイント増となっている（図 1.14）。

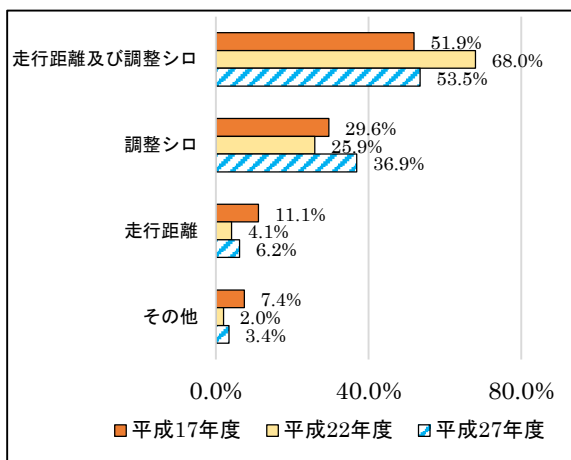


図 1.13 事業用バスの判断基準

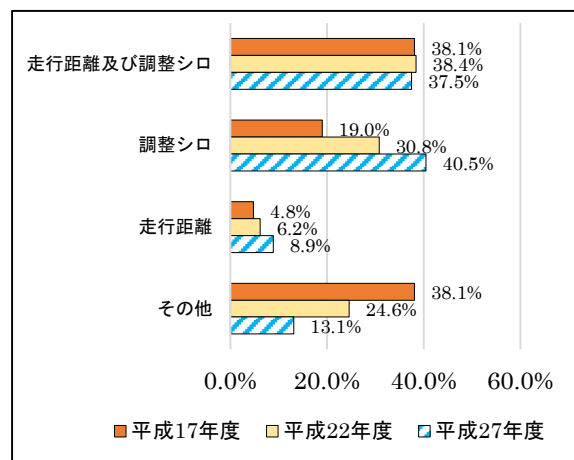


図 1.14 事業用トラックの判断基準

(3) 車体の定期修理の見直し（事業用バス）

今回調査では「車体の定期修理の見直し」が前回と比較して 10.7 ポイント減となっている（図 1.15）。

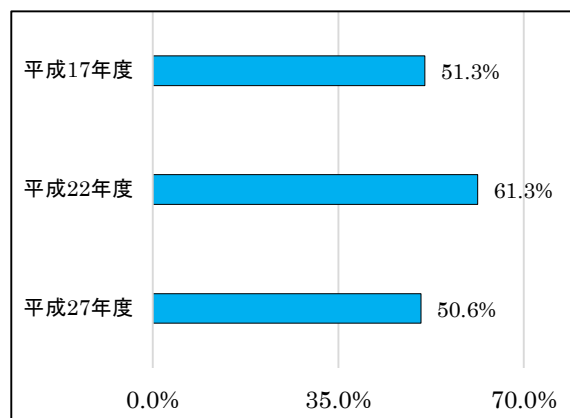


図 1.15 車体の定期修理の見直し

(4) 座席シートの張替え時期（事業用バス）

今回調査では「全面張替え中止し、随時部分補修とした」が最も多く、次いで「ボディ塗装の時期に合わせて張替りえる」、「張替え時期延長した」等となっている。前回と比較して「ボディ塗装の時期に合わせて張替える」が6.1ポイント減となっている（図 1.16）。

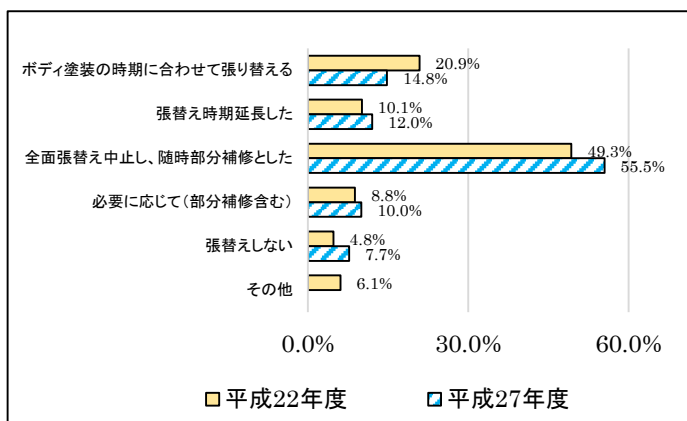


図 1.16 座席シートの張替え時期

6. タイヤ・チューブ費

(1) エコタイヤの使用

① 事業用バス

今回調査では前回と比較して11.1ポイント減となっている（図 1.17）。

② 事業用トラック

今回調査では前回と比較して5.9ポイント増となっている（図 1.18）。

(2) 更生タイヤの使用

① 事業用バス

今回調査では前回と比較して15.5ポイント減となっている（図 1.19）。

② 事業用トラック

今回調査では前回と比較して10.9ポイント増となっている（図 1.20）。

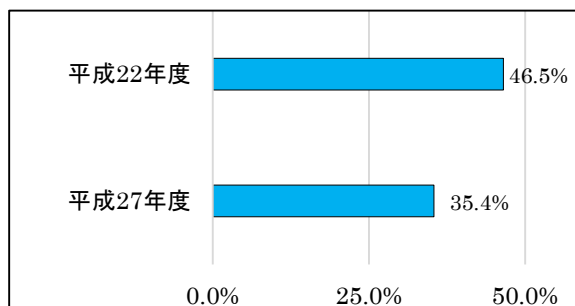


図 1.17 事業用バスのエコタイヤの使用

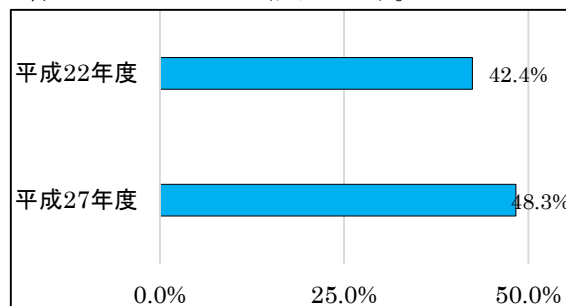


図 1.18 事業用トラックのエコタイヤの使用

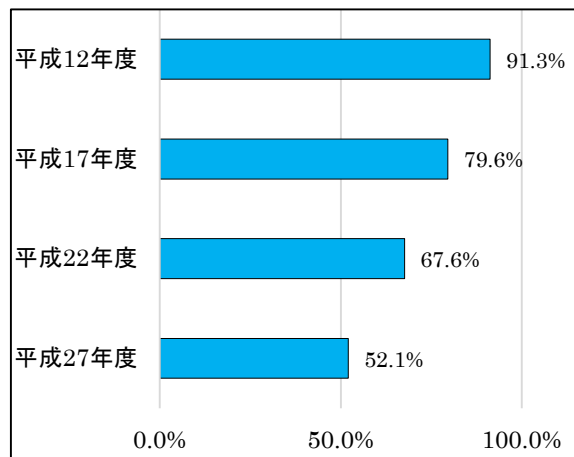


図 1.19 事業用バスの更生タイヤ使用状況

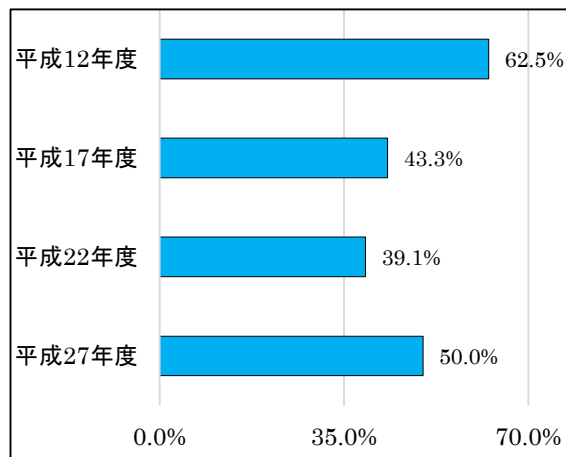


図 1.20 事業用トラックの更生タイヤ使用状況